

一般幹部候補生採用予定者に対し部隊研修を実施

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田 辰雄 1等海佐）は、3月7日（月）から3日間の日程で平成27年度一般幹部候補生採用予定者部隊研修を実施した。

3日間の部隊研修では、陸上自衛隊第15旅団、海上自衛隊第5航空群、航空自衛隊第9航空団それぞれの任務・役割、訓練や活動の状況をはじめ、P3C対戦哨戒機やF15戦闘機等装備品の研修を行い、参加者は担当者の説明に熱心に耳を傾けていた。

特に初級幹部との懇談では、幹部候補生学校での訓練や生活に関する不安を払拭するとともに、部隊配置後に幹部として勤務することに対する決意を固めていた。

今回の研修を通じ採用予定者からは「入隊同期の絆が深まった」「幹部候補生学校卒業後幹部としてしっかり勤務していく」と目を輝かせて話してくれた。

自衛隊神奈川地方協力本部は、「今後も入隊入校予定者へのつなぎ広報を本部と募集事務所が丸となって積極的に実施していく」としている。



海上自衛隊研修にて説明を受ける採用予定者

在日米軍軍楽隊訪問

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、3月10日（木）、神奈川県キャンブ座間に所在する在日米軍軍楽隊を平塚地域協力団体担当者とともに訪問した。

本件は、4月に軍楽隊の支援を受ける地域協力団体と高校の吹奏楽部顧問との意見交換をはじめ、平成28年度における平塚地域事務所からの協力要請のために行ったものである。

当日は、部外施設に集合し、和やかな雰囲気の中、軍担当者として約2時間意見交換を行った。軍担当者からは、今後も様々な演奏活動の機会において日本国民との交流の場を多く作り、在日米軍への理解を深めていただけるよう努めていきたいとの話があった。平塚地域事務所は、「今後も、米軍と共に地域へ貢献できる各種行事と募集・広報を調整し、垣根を越えた協力体制を築いていく」としている。



軍音楽隊担当者との懇談